

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ゆうゆう館(旧敬老会館)改築・改修				整理番号	199		枝番号		
担当部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	2248		昨年度整理番号		
係名					計画推進担当			上位施策名	No		
予算事業名					ゆうゆう館(旧敬老会館)改築			コード	39470		
					高齢者の社会参加と交流の拡大			30			
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		17年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条 (3) 老人憩の家の設置運営について				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				実施計画に基づき、老朽化したゆうゆう館(旧敬老会館)を選定し、改築する。また、介護予防拠点としてゆうゆう館を利用するため、ゆうゆう館を改修する。						
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 従来の機能・役割である「憩いの場」に、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」としての役割・機能を加えた施設にする。また、介護予防事業を実施し地域の介護予防拠点として活用していく。						
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ゆうゆう館(旧敬老会館)改築数(累計) (2) 介護予防拠点の機能を持ったゆうゆう館数(累計)							
				(1) (代) ゆうゆう館数に対する改築したゆうゆう館数の割合 (2) (代) ゆうゆう館数に対する介護予防拠点を持ったゆうゆう館数							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		館	0	0	0	0	0	4	0.0	
	活動指標(2)		館	0	0	0	1	1	9	11.1	
	成果指標(1)		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	
	成果指標(2)		%	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	28.1	11.1	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	7,145	10,423	57,699	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> ゆうゆう館(旧敬老会館)改築は、平成17年度に設計を行い、18年度から工事が開始し19年度に開設することから、17年度・18年度の活動指標(1)は0となっている。  17年度途中に介護予防拠点の整備を行う方針が決定したため、17年度の活動指標(2)の計画は0となっている。さらに、18年度についても補正予算で対応する方針である。		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	7,145	10,423	57,451			
	(内)委託費		千円	0	0	6,959	3,136	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.00	0.00	0.20	0.60	1.05			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	1,812	5,436			9,513
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	0	0	8,957	15,859	67,212			
	単位あたりコスト( - )÷		円								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	7,287			7,500
特定財源計 +		千円	0	0	0	7,287	7,500				
差引:一般財源 -		千円	0	0	8,957	8,572	59,712				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		介護予防拠点整備(ゆうゆう西荻北館)				1	館	7,287			
		ゆうゆう今川館(旧井草敬老会館)実施設計・遺跡調査				1	所	3,136			
		その他		( )				0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%		活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	145.9
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ゆうゆう今川館(旧井草敬老会館)改築のため、遺跡調査及び設計を行った。また、ゆうゆう西荻北館の介護予防拠点とするための改修を行った。介護予防拠点とするためのゆうゆう館の改築については、平成17年度途中に方針が決定し補正予算で対応したため、執行率が100%を大きく超えている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいる。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向けの施設としては現在では考えられないような設備がそのまま残っている。和室2、洋室、茶室、浴室等からなる部屋の構成も現在の高齢者需要にあわない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学識経験者、利用団体代表、区民代表、区職員で構成される「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」が開催され、敬老会館の役割・機能について従来の「憩いの場」に加えて、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」の4本柱を基本とする提言を受けた(平成17年9月)。					
	今後の予測	団塊の世代がまもなく高齢者となり、利用対象者は今後も増加する。それに伴い、元気高齢者層がこれまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも利用しやすい施設整備が望まれていくと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の拠点となる場所へのニーズも増える。また、虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、ゆうゆう館(旧敬老会館)の果たす役割は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:ゆうゆう館の改築・改修とともにその目的は明確であるため、その目的以上の成果を付加することは困難である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:改築及び改修をするために、利用者に負担を強いることは適当ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:改築及び改修工事については入札で業者を選定している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 区がゆうゆう館を所有しており、施設所有者である区が施設を管理している。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までにゆうゆう館の改築を4館、介護予防拠点としての機能をもったゆうゆう館を9館整備する。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成19年にゆうゆう館の改築における設計1.2館、工事0.8館の予定。

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ふれあい入浴・まちの湯健康事業				整理番号	292		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	2246		昨年度整理番号	289	
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No		
予算事業名				ふれあい入浴		コード	24950		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度			●昭和 ○平成		49年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条1項及び第13条1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱 (3) 杉並区まちの湯健康事業実施要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区内の公衆浴場を借上げ、第1から第4までの日曜日に月1回もしくは月2回、浴場の半数ずつを利用料100円で高齢者に開放する。また、公衆浴場を活用した健康事業を、月1回以上実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が公衆浴場に出向き、心身のリフレッシュを図るとともに、高齢者同士の親睦を深めることで、社会参加、交流の拡大が図られる。また、身近な公衆浴場で、継続して健康事業に参加することで、高齢者の健康増進が図られ介護予防につながる。						
	活動指標名(式)			(1) ふれあい入浴年間延べ利用者数 (2) まちの湯健康事業年間延べ参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ふれあい入浴1回当たりの利用者数 = 年間延べ利用者数 ÷ 実施回数 (2) まちの湯健康事業1回当たりの参加者数 = 年間延べ参加者数 ÷ 実施回数						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		人	94,223	86,250	73,920	53,866	52,800				
	活動指標(2)		人				2,650	2,880				
	成果指標(1)		人				81.0	80.0				
	成果指標(2)		人				7.5	7.5				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	35,337	34,038	30,882	29,591	33,940	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)の計画値 17年度 = 実施浴場 × 年間実施回数 × 70人で算出 18年度 = 実施浴場 × 年間実施回数 × 80人で算出、一部「まちの湯健康事業」に移行 活動指標(2)・成果指標(1)(2)の計画値 年々公衆浴場の廃業や自家風呂の普及により利用者が減っているため、18年度から指標を変更した。			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	35,190	33,750	30,732	15,541	33,900				
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.35	0.40	0.40	0.40	0.40				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,148	3,640	3,624	3,624				3,624
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	38,485	37,678	34,506	33,215	37,564				
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	408	437	467	617	711				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	17,763	17,040	8,184	14,828				9,039
特定財源計 +		千円	17,763	17,040	8,184	14,828	9,039					
差引:一般財源 -		千円	20,722	20,638	26,322	18,387	28,525					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		事業委託(まちの湯健康事業)					354	回	15,576			
		事業委託(ふれあい入浴)					665	回	13,965			
		事務費							50			
		その他 ( )							0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	72.9	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	95.8
		ふれあい入浴及びまちの湯健康事業を実施する公衆浴場が廃業等により減少したため、実施予定回数を3.5%下回った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度実績に基づき、まちの湯健康事業の実施回数を増やした。まちの湯健康事業を継続できない浴場は、ふれあい入浴を実施する。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成18年度 43か所 ・高齢者(60歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成18年度 124,085人(23.5%)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	日常生活の中で気軽に運動する機会が増えた。健康のために楽しみながら継続していきたい。					
	今後の予測	・公衆浴場の減少 ・高齢者(60歳以上)人口の増加					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 高齢者の憩いの場として、高齢者同士が親睦を深めることにより、社会参加、交流の拡大に貢献している。また、継続的に健康事業を実施することにより、介護予防を推進することができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 健康事業の内容を見直すことにより、事業効果が上がる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 公衆浴場入浴料金の値上げに伴い、利用者料金の値上げもあり得るが、浴場組合の収入となる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 1回あたりの委託料は、公衆浴場の入浴料金の差額と利用者数を基礎に算定しており、受益者負担を見直さない限り困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 区内の公衆浴場を廉価で開放する事業を浴場組合に委託している。また、17年度から公衆浴場を活用した健康事業を浴場組合に委託するとともに、シルバー人材センターやNPO法人等に健康事業の講師派遣を依頼している。ふれあい入浴は、その目的である高齢者の憩いの場として高齢者同士の親睦を深めることについて一定の成果をあげているが、健康事業については、公衆浴場の減少や実施スペースの狭小により利用者の伸び悩みが課題である。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減      コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 公衆浴場の廃業が続き、地域によってふれあい入浴利用者に不公平が生じている。 第3次行財政改革実施プランによる高齢者入浴サービスの見直しの中で、ふれあい入浴事業の拡充を踏まえて検討を行う。 19年度に実施可能なものについては、18年度予算編成時までに浴場組合と協議し決定する。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 実施回数を増やせない浴場がある。 浴場組合が各浴場の現状を把握した上で区と協議する。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 ふれあい入浴及びまちの湯健康事業の規模を拡充する場合は事業費増が見込まれる。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		風呂っと杉並事業支援				整理番号	293		枝番号		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	2246		昨年度整理番号	290	
係名					いきがい活動支援係			上位施策名		No	
予算事業名					風呂っと杉並		コード	22450		高齢者の社会参加と交流の拡大	30
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱				
	50歳以上の区民						(2)				
							(3)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
区内の公衆浴場を4名以上50歳以上の高齢者のグループに有料(利用料100円)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業に要する経費について、運営費及び施設改修費を補助する。						公衆浴場が高齢者の健康や生きがいを目的としたグループ活動の拠点となり、高齢者の社会参加と交流の拡大が図られ、健康増進につながる。					
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 風呂っと杉並事業を実施する浴場数						(1) 1所あたりの1か月の利用者数					
(2)						(2)					
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	所	17	17	20	17	20				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	人	18.4	20.0	22.0	20.7	22.0				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,863	7,371	10,890	4,742	10,720	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円									
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.35	0.40	0.40	0.20	0.20				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,148	3,640	3,624	1,812		1,812		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +	千円	9,011	11,011	14,514	6,554	12,532				
	単位あたりコスト( - )÷	円	530,059	647,706	725,700	385,529	626,600				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	2,487	2,445	5,445	2,695		5,360		
特定財源計 +		千円	2,487	2,445	5,445	2,695	5,360				
差引:一般財源 -		千円	6,524	8,566	9,069	3,859	7,172				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)		
	施設改修費助成						1	所	500		
	事業運営費助成						1	式	4,242		
	その他 ( )								0		

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	85.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	43.5
新たに事業を実施する浴場が1件だった為、施設改修費及び事業用備品購入費の件数が計画を下回った。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
介護予防事業の拠点として活用できる可能性のある浴場が少ないため、現状では風呂っと杉並事業を拡大して実施することは困難である。 事業を実施する浴場が計画どおりに増えないため、事業に要する備品購入費の予算を削減した。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成18年度 43か所 ・高齢者(60歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成18年度 124,085人(23.5%)				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	趣味の活動を通して高齢者同士がふれあうことができ、ひとり暮らしの不安が解消された。				
	今後の予測	・公衆浴場の減少 ・高齢者(60歳以上)の人口増加				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )		理由: 高齢者の健康や生きがいを目的としたグループ活動の拠点とすることで、高齢者の社会参加、交流の拡大に貢献している。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )		理由または具体的内容: 事業の拡大に積極的な取り組みを行うよう浴場組合に働きかける。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容: 浴場組合の自主事業を支援しているので、受益者負担を見直し余地はない。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )		理由または具体的内容: 実施回数が多くなるほど、浴場組合の持ち出しが多くなる。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )		協働等による成果と課題 高齢者の活動、交流を促進するために、公衆浴場を開放し実施する杉並浴場組合の自主事業「風呂っと杉並事業」に要する経費の一部を補助している。 公衆浴場の自主事業であるにもかかわらず、実施浴場が増えないことが課題である。			
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減                      コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 公衆浴場のバリアフリー化を計画的に実施するとともに、第3次行財政改革実施プランによる高齢者入浴サービスの見直しの中で、風呂っと杉並を含めた区の補助事業のあり方を検討する。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 浴場は設備改修が優先されるため、バリアフリー化する経済的余裕がない。 公衆浴場を活用した高齢者が行う様々な事業について、総体的な見直しを行う。					
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
(2) 理由 施設改修費補助の終期を設定し、浴場組合と協議しながら計画的にバリアフリー化を進める。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		いきいきクラブ活動支援			整理番号	295		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課			コード			連絡先電話番号	2247		
								昨年度整理番号	293		
係名					いきがい活動支援係			上位施策名		No	
予算事業名					いきいきクラブ			高年齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		33年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条、第13条2項				
	杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会						(2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱				
							(3) 杉並区いきいきクラブ連合会補助金交付要綱				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
杉並区に87あるいきいきクラブの、社会奉仕活動・友愛活動・生きがい活動・健康づくり等のクラブ活動に対して各クラブの会員数を考慮し、助成をする。また、全クラブが加入している連合会に対しても運営費の助成を行う。					会員一人一人が積極的に社会参加や自立をし、高齢期をいきいきと生活できるようにする。 また、連合会は各いきいきクラブの会員増加や社会活動等の推進を積極的に行っていく。						
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) いきいきクラブ加入人員					(1) $\text{いきいきクラブ加入率} = \text{いきいきクラブ加入数} \div \text{60歳以上の人口} \times 100$						
(2) $\text{地域福祉活動費受給クラブ割合} = \text{地域福祉活動費受給クラブ数} \div \text{全クラブ数} \times 100$					(2) $\text{ボランティア活動回数(クラブあたり)} = \text{ボランティア活動回数} \div \text{全クラブ数} \div 12\text{月}$						
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
	活動指標(1)	人	8,224	7,920	8,000	7,597	8,000				
	活動指標(2)	%	99	99	/	/	/				
	成果指標(1)	%	6.8	6.6	6.2	6.2	6.1				
成果指標(2)	回	17	17	20	18	20					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	31,745	32,480	32,025	30,516	31,955	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(2)について、平成17年度から地域福祉活動費を定例活動費に取り入れたため。		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.16	0.60	0.50	0.84	0.70			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,439	5,460	4,530	7,610	6,342		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	33,184	37,940	36,555	38,126	38,297			
	単位あたりコスト( - )÷		円	4,035	4,790	4,569	5,019	4,787			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	3,199	3,346	3,393	3,317	3,381		
特定財源計 +		千円	3,199	3,346	3,393	3,317	3,381				
差引:一般財源 -		千円	29,985	34,594	33,162	34,809	34,916				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			いきいきクラブ助成金(委託等)						29,979		
			福祉大会分担金(委託等)						400		
			都市交流懇談会						100		
			助成事務費						19		
			その他 (指導者研修会)						18		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	95.0	活動指標(2)の17年度達成率%	17年度予算執行率%	95.3
		クラブ会員数の減少が当初の予定よりも大きかったため。				
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年度にクラブの活性化を図るため活性化委員会を立ち上げたところ、会員数の下げ止まりの傾向が見られた。 また、一部のクラブで積極的にPR活動に取り組むなどの改善がみられ、少しずつではあるが、活性化委員会の成果ができています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和33年当初 高齢者人口29,907人に対し3クラブ 平成5年 高齢者人口95,172人に対し会員数12,071人(12%)クラブ数96 平成10年 高齢者人口107,118人に対し会員数11,606人(11%)クラブ数100 平成15年 高齢者人口118,129人に対し会員数8,224人(7%)クラブ数90 平成18年 高齢者人口123,366人に対し会員数7,540人(6%)クラブ数87				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	いきいきクラブ会員が高齢化しているため、入りづらい。また魅力的な活動が行われていない。				
	今後の予測	65歳以上の高齢者人口(率)の予測:平成22年102,432人(19.35%)、平成27年111,724人(21.25%) (平成17年3月 杉並区基本計画・実施計画の数値)				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区内全域にわたって設立されているクラブの活動により、広範囲にわたる高齢者の社会参加が行われるとともに、地域の社会福祉や高齢者の生きがいを支援する役割を果たしている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: ・会員数増加のためホームページや広報等を利用した積極的なPR活動。 ・研修会、講演会を行い各クラブ指導者の育成を行う。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 助成対象活動の一部についても、各クラブとも会員費を徴収し活動している。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 実績に基づいて補助金額を決定するような方法を取り入れることを検討する。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 ボランティア活動や高齢者の生きがいの向上するための活動、会員増強のための積極的な活動に対して運営費の補助を実施している。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容 )					
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度にいきいきクラブ活性化委員会を立ち上げた。そのなかで、いきいきクラブ連合会の組織体制の強化や、会員増強のために高齢者のニーズに合わせた魅力的な活動を実施していくなど、今後の方向性が示された。 平成18年度については、連合会の組織強化を実効していく。具体的には、連合会が実施するスポーツ大会や演芸大会などを実行していくための専門的な部制を設立する支援などを行っていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 会長研修会などを通じて、各会長には活性化に対する共通の認識が深まってきたが、各クラブの会員については、活性化に対する認識が浸透していないので、連合会の行事などを利用して、会員への周知を図る。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	クラブの活性化を図ることで会員数の増が見込まれるが、大幅な予算の増減はない。				



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		シルバー人材センター支援				整理番号	296		枝番号				
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2247		昨年度整理番号	294		
係名					いきがい活動支援係					上位施策名		No	
予算事業名					いきがい活動支援					コード		25650	
										高年齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条						
	社団法人				杉並区シルバー人材センター		(2) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行う。		(3) 杉並区シルバー人材センター運転資金貸付要綱						
活動指標名(式)				(1) 就業実人員数		(2) 月平均会員数(各月末会員数の和÷12月)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) シルバー人材センターの安定した事業運営を図る。					
成果指標名(式)				(代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 延受託件数(月単位で実績のあった受託件数の累計)		(2) 会員の就業率(就業実人員数÷月平均会員数)					

  

区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	人	1,837	1,850	1,975	1,860	1,986	2,073	89.7	
	活動指標(2)	人	2,573	2,646	2,784	2,672	2,805	3,588	74.5	
	成果指標(1)	件	13,070	14,293	15,378	15,098	15,378	23,197	65.1	
	成果指標(2)	%	71	70	71	70	71	80	87.5	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	166,914	164,096	176,265	162,837	175,361	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円		0	0	0	0			
	(内)委託費	千円		0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.61	0.60	0.50	0.30	0.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,486	5,460	4,530	2,718			2,718
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	172,400	169,556	180,795	165,555	178,079			
	単位あたりコスト( - )÷	円	93,849	91,652	91,542	89,008	89,667			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金	千円	0	231	223	223			443
特定財源計 +		千円	0	231	223	223	443			
差引:一般財源 -		千円	172,400	169,325	180,572	165,332	177,636			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

  

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	人件費(常勤職員人件費)				105,795
	運営費(嘱託員、臨時職員人件費、管理経費など)				54,042
	事業費				3,000
	その他 ( )				0

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	94.2	活動指標(2)の17年度達成率%	96.0	17年度予算執行率%	92.4
会員数、契約件数、就業実人員とも、前年度比でそれぞれ、1.6%、5.6%、0.5増とわずかだが着実に成果を上げている。さらに事業収入は5.6%増加した。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	説明会を延22回開催するなど、普及啓発活動による規模の拡大に努めた。また研修・講習による知識・技能、接客態度の向上や、事務処理の効率化に取組み、その結果として、契約件数・契約金額が増加するとともに、お客様満足度調査において接客態度の向上に努めた。さらに東京都の補助事業である活性化推進事業によるホワイトカー向け事業(パソコン教室)や地域との連携事業(杉並浴場組合等と連携した健康、趣味の講座など)も実施した。向こう10年間の「中長期計画」を策定し、ビジョン、基本指針、中期計画に基づいた着実な事業の推進を図った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢化率:昭和54年 8.57% 平成18年 18.35% シルバー人材センター会員数: 昭和54年度 1,280人 平成17年度 2,689人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	会員数の増加とともに、会員の就業に対する考え方も多種多様になってきている。そのため、シルバー人材センターの会員になってもなかなか自分の希望する仕事に就業することができないという苦情がある。また、一般区民からセンター会員に対する接客態度に対する苦情もある。				
	今後の予測	団塊の世代が定年を迎え、優れた知識・技能、そして多様な考え方もった高齢者が、地域に戻ってくる。会員の幅広い就業に対する要望に応えられるようホワイトカー向けをはじめとする就業機会の確保、事業開拓がより一層求められるとともに、公益法人として如何に地域貢献をしていくかが課題となる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	シルバー人材センターは、高齢者に就業の機会を提供することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりの面で大きく貢献している。「いきいき元気に生涯現役」を目標とする区として、その支援は重要な施策である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: シルバー人材センターが、昨年度策定した「中長期計画」に定めたビジョン、基本指針、中期計画に基づいた着実な事業の推進を図り、会員数、就業者数、契約の件数及び金額を増やす。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 該当しない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 会員数、就業者数、契約件数・金額の増を図り、単位あたりのコストを下げる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題 いきがいづくりとしての就労機会の提供の分野で協働を進めており、就業実人員数は毎年わずかだが上昇している。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減                      コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 昨年度策定した「中長期計画」に基づき、幅広い就業機会の確保を図るとともに、公益法人として地域高齢者へのサービス提供なども含め、広く地域貢献を行う人材センターとして活動できるよう、区としても引き続き安定した支援を行っていく。平成20年度までに無料職業紹介所をシルバー人材センターが開設できるかどうか検討する。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 会員の拡大には、ホワイトカー向けの就業機会の開拓拡大が急務であるが企業側の求人需要は依然として小さい。また、公共事業への依存度を低くするためにも、完成度の高い仕事の履行、接客態度の向上による民間顧客の確保に努める必要がある。さらには、人件費や管理運営費の補助や運転資金の貸付金について、法人の自立を促すためにも、将来的には他区市町村に倣って見直す必要がある。					
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
(2) 理由 生涯現役として、シルバー人材センターに就業機会を求め高齢者は、ますます増加する。センターの中長期計画に基づき公益性と収益性のバランスの取れた経営等、改革に努めるよう指導を続ける。公共事業や補助金に依存しない事業運営ができる財政基盤としていくことが望ましいが、現在の厳しい社会経済情勢のもと安定した事業運営を図るため、引き続き前年度程度の補助金が必要である。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者いきいき事業				整理番号	297		枝番号				
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2246		昨年度整理番号	295		
係名					いきがい活動支援係					上位施策名		No	
予算事業名					いきがい活動支援					コード		25650	
										高年齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条						
	50歳以上の区民						(2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例						
							(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
高齢者活動支援センターやゆうゆう館で、高齢者のいきがい、健康づくり、パソコン等に関する講座などを、地域のNPO法人・団体等と協働で開催した。17年度からは地域で活動するNPO・団体が構成される「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」を立ち上げ、高齢者活動団体の連携、ネットワークづくりを図った。						定年を迎え、地域に戻ってくる団塊の世代を含め、高齢者の生きがいを高める活動・学習の場を提供し、地域で活動する団体相互の情報交換・連携による事業の拡大で、高齢者が地域の中でいきいきと楽しく暮らしていけるようにする。							
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 教室等参加者の合計数						(代) 65歳以上で生きがいを感じている高齢者の割合 (杉並区高齢者実態調査報告書 17年3月)							
(2) 高齢者いきいき事業協働推進連絡会年間開催数						(2) 高齢者いきいき事業協働実施団体数(代)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績	計画		22年度				
指標	活動指標(1)		人	85	1,362	1,500	3,190	8,400		16,150	19.8		
	活動指標(2)		回	/	/	3	3	3		3	100.0		
	成果指標(1)		%	79.80	78.60	80.00	78.60	80		83	94.7		
	成果指標(2)		人	/	/	10	12	18		45	26.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	224	3,511	473	513	14,943		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 敬老会館モデル館事業が17年度で終了し、18年度より3年間の協定を結び、9館でゆうゆう館協働事業を開始する。協働事業館の環境整備のため、備品購入費が計上されている。			
	(内) 投資的経費等		千円					12,000					
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.45	0.85	0.35	0.40	0.65					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	13,041	7,735	3,171	3,624	5,889				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	13,265	11,246	3,644	4,137	20,832					
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	156,059	8,257	2,429	1,297	1,051					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	13,265	11,246	3,644	4,137	20,832						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)				
			敬老会館いきがい支援事業				60	回	244				
			敬老会館モデル館事業				262	回	110				
			杉の樹ホール支援事業				15	回	93				
			高齢者いきいき事業協働推進連絡会				3	回	66				
			その他 ( )						0				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	212.7	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	108.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度は、ゆうゆう館協働事業者を公募し、選出した6団体とモデル館事業実施3団体の計9団体と協定を結び、経費をかけずにゆうゆう館9館で新たな協働事業を展開する。17年度は、高齢者のいきがい活動事業を拡大するため、高齢者活動支援センター・ゆうゆう館で、地域の団体・NPO法人と協働で健康講座等(75回 1514人)、敬老会館モデル館事業(3館 262回 2270人)を実施した。また、地域で活動するNPO・団体が構成される「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」(3回 33人)を開催し、相互の連絡・ネットワークづくりを図り、高齢者に対する自主的な活動を支援した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成18年18.35%					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	定年後の過ごし方として、今までの経験や技術を活かして地域で活動をしたい、仲間がほしいなど社会参加への希求がある。					
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成18年 95,022人 18.35% 平成22年 102,432人 19.35% 高齢社会が進む中、団塊の世代が定年を迎え、地域社会の人口構成が急速に変化する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 高齢者活動支援センターやゆうゆう館での事業に多数の参加者があり、高齢者の健康やIT関係などへの学習意欲の高まりが確認された。地域で活動する団体の交流や情報交換が積極的に行われ、新しい活動機会の提供が図られる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 高齢者に関心あるテーマで開催するため、事業の運営主体を地域のNPO法人や団体にする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 事業の実施は、ある程度受講者からの受講料で運営する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 受益者負担の導入と、魅力ある事業を実施することで、高齢者の参加者が増えれば経費が削減される。					
	(5) 協働等による成果と課題 協働による成果と課題: NPO法人や地域の団体の参加、協力を得て、少ない経費で実施することができた。今後、団塊の世代が地域に戻ることで、ますます多様化する、高齢者の学習・地域活動への要望に応えられるよう、ゆうゆう館協働事業者による、様々な協働事業を展開する。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )						
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに全ゆうゆう館を協働事業実施館とし、高齢者の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場としての活用を図る。「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」にゆうゆう館協働事業者を参加させ、いきいきと魅力ある協働事業の実現に向け、活発に活動できるよう自主運営とする。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 全ゆうゆう館を協働事業実施館にするには、受託団体の確保が最大の課題であり、すぎなみ地域大学と連携を取りながら、協働事業実施者の確保に努める。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
(2) 理由 地域のNPO法人や団体との協働事業を進め、少ない経費で、高齢者への学習・社会参加の場を提供する。							

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者のための起業・就労支援				整理番号	298		枝番号						
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2247		昨年度整理番号	296				
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No					
予算事業名				いきがい活動支援				コード		25650		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条								
	概ね55歳以上の区民						(2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				就業相談や就業情報の提供を行うとともに、起業についての心構えや実務的な知識を得るための講座をNPO法人に委託して開催し、高齢者の就労を支援する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 働く意欲のある高齢者が、就労することで生きがいある生活を送るとともに、社会参加することによって地域の活性化を実現していく。								
活動指標名(式)				(1) 起業・就労支援講座参加者数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
								(1) 講座への参加者数							
								(2)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値	目標値に対する17年度の達成率%						
					計画	実績		22年度							
指標	活動指標(1)		人	0	27	50	24	30	30	80.0					
	活動指標(2)							50	50	0.0					
	成果指標(1)			0	27	50	24	6	9	266.7					
	成果指標(2)							10	15	0.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	462	446	446	886	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)投資的経費等		千円		0	0	0	0	平成18年度より 活動指標(1) 起業支援講座参加者数 活動指標(2) 就業支援講座参加者数 成果指標(1) 起業支援講座参加者のうち 実際に起業した人数(講座終了後1年間) 成果指標(2) 就業支援講座参加者のうち 実際に就業した人数(講座終了後1年間)とする。						
	(内)委託費		千円		462	446	446	886							
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.25	0.30	0.30	0.25	0.25							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,249	2,730	2,718	2,265	2,265							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	2,249	3,192	3,164	2,711	3,151							
	単位あたりコスト( - )÷		円		118,222	63,280	112,958	105,033							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0			
		国・都等からの支出金		千円	0	231	223	223				443			
特定財源計 +		千円	0	231	223	223	443								
差引:一般財源 -		千円	2,249	2,961	2,941	2,488	2,708								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)						
		起業支援講座開催(委託)					5	回	376						
		就業支援講座開催(委託)					6	回	70						
		その他 ( )							0						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	48.0	活動指標(2)の17年度達成率%	17年度予算執行率%	100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		就業に関する個別相談や情報提供は、開催中のみにとどまる結果となったが、起業支援講座については、参加者のあいだで交流会の発足の希望者が多く、今後の交流が期待できる結果となった。しかし、委託NPO法人内部の人材やノウハウ不足から、委託NPO法人を無料職業紹介の担い手とすることは不可能と判断した。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	13年度、16年度の働く意欲のある高齢者の割合はいずれも20%強を占めていた。現在では、団塊世代の大量退職を起因とするいわゆる2007年問題を目前に控えている。また検討課題でもある都のアクティブシニア事業の補助金制度が19年度を目途に見直す方向が決定している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	講座参加者からは、力づけられた、大変参考になったなど好評を得ている。				
	今後の予測	年金の支給繰上げによる不安や、まだまだ働く意欲のある団塊世代の大量退職など、同事業への区民の関心はますます高まる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 就業によって高齢者の社会参加が実現する。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: NPO法人だけでなく、シルバー人材センターなどの社団法人や、民間派遣会社など実施可能な主体を可能な限り検討する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: より就業に有利に働く講座の内容が提示できれば、見直しの余地はある。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [事業の統廃合] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 経済勤労課、勤労福祉協会などと講座内容が重複している。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )	NPO法人の豊富な人脈により、講師の確保が低コストで実現された点では一定の成果はあったが、NPO法人が職業無料紹介所を開設に至る力が確認できなかった。				
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減      コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 実際に、就業及び起業に結びつける事業にするには、就業斡旋を含めた事業を展開することが必要であり、実施主体をNPO法人に限定せず、シルバー人材センターなどの社団法人や、民間派遣会社などを含めて可能な限り、20年度までに検討、選択する。					
19年度方針	(2) 理由 19年度は現状のまま、起業・就業支援講座を行うが、技術の取得のようなより実践的な内容の講座を開設する。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会貢献スタッフ派遣事業				整理番号	299		枝番号		
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課			コード	091403	連絡先電話番号	2247		昨年度整理番号	297	
係名 いきがい活動支援係					上位施策名				No		
予算事業名 いきがい活動支援					コード	25650		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 老人福祉法第4条						
	概ね55歳以上の区民				(2) 杉並区高齢者人材バンク設置要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 社会貢献意欲のある高齢者に技術・技能等を取得する講座を開催し、一定のレベルに達した受講者を、派遣要望のある地域のグループ等に派遣する。また、既に知識・技術・経験を持っている高齢者を高齢者人材バンクに登録し、派遣要望のある地域のグループ等に派遣する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 知識・技術・経験を持ち地域で社会貢献する意欲のある高齢者を、各種団体・グループ等に紹介することで、高齢者の生きがい支援を図り、地域社会の担い手となるようにする。						
活動指標名(式) (1) 人材バンク登録者数 (2) 社会貢献スタッフ派遣事業受講者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 人材紹介率 = 紹介件数 ÷ 登録者数 × 100 (2)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	65	65	80	65	90	65	100.0	
	活動指標(2)					30	36	30	50	72.0	
	成果指標(1)			5	5	30	19	50	80	23.8	
	成果指標(2)							100	150	0.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	524	131	80	371	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など)  17年度は、社会貢献スタッフ養成講座を修了した者を、当課のいきがい活動支援事業のゆうゆう館(旧敬老会館)での健康づくりの講座(健康エアロピクス講座)を開催し、派遣した。 なお、18年度以降は、活動指標(2)に年間延べ派遣先数を、成果指標(2)に実際に派遣された延べ社会貢献スタッフ数に変更する。		
	(内)投資的経費等		千円		0	0	0	0			
	(内)委託費		千円		0	0	0	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.55	0.40	0.30	0.45	0.45			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,947	3,640	2,718	4,077	4,077			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	4,947	4,164	2,849	4,157	4,448			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	76,108	64,062	35,613	63,954	49,422			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	230	65	38			186
特定財源計 +		千円	0	230	65	38	186				
差引: 一般財源 -		千円	4,947	3,934	2,784	4,119	4,262				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		社会貢献スタッフ(健康エアロピクス)養成講座					5	回	75		
		その他 ( )									5

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	81.3	活動指標(2)の17年度達成率%	120.0	17年度予算執行率%	61.1
		必要最小限のもの(社会貢献スタッフ用名札)のみ購入し、事務費の節減をおこなった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		これまで地域のグループ等から派遣の要望はなく、人材派遣先を発掘することができなかったため、17年度は、当課のいきがい活動支援事業のゆうゆう館(旧敬老会館)での健康づくりの講座で健康エアロピクス講座を開催し、社会貢献スタッフとして養成したインストラクターを派遣した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	NPO・ボランティア活動をやってみたい高齢者は当初より年々増えている。また、団塊世代の地域貢献策も視野に入れ、現在では50歳代の社会貢献スタッフが活躍している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	新たな技術習得の場を設けることよりも、これまでに培ったものを発揮してもらおう場を提供してほしい。					
	今後の予測	団塊世代が退職を迎え、地域に戻ってくるにあたって、技能や経験等を生かした地域貢献の要望はますます高まる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 高齢者の技能・経験や社会貢献意欲を活用し、地域での活動をととして社会参加を促している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 当課の事業に社会貢献スタッフ(人材バンク登録者含む)として参加してもらうための新規事業を企て、社会貢献スタッフの活動の場の創					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 社会貢献スタッフ養成講座参加者に、テキスト代の実費負担などを求めるなど見直しの余地はある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[事業の統廃合](具体的内容 )	理由または具体的内容: ボランティア推進センター、すぎなみ地域大学などの事業の棲み分けを行う。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 現在、社会貢献スタッフ養成講座の講師を依頼した団体と社会貢献スタッフ7名との協働で健康エアロピクス講座を開催した結果、区民から好評を得て開催場所、開催回数を増やすまでに至った。今後開催場所や開催回数がさらに増えていくに連れ、スタッフの活動量が増えていくが、安心して社会貢献活動が行えるよう、区は安全対策方針を再検討する必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ボランティア推進センター、すぎなみ地域大学との事業の棲み分けの検討 (例) 養成講座はすぎなみ地域大学で実施し、当課は派遣先(ゆうゆう館での事業など)を発掘する。 いきいき事業協働推進連絡会会員の個別事業やゆうゆう館協働事業での高齢者人材バンク登録者の活用						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 既に経験や知識をもつ人材バンク登録者の派遣先が発掘できないことにあるため、今後、高齢者活動支援センターやゆうゆう館などの事業で、登録者の活動の場を創出する。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 当課の事業に社会貢献スタッフ(人材バンク登録者含む)として参加してもらうための新規事業を企て、社会貢献スタッフの活動の場の創出を拡大する。						



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		長寿祝い品贈呈				整理番号	312		枝番号		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先電話番号	2246		昨年度整理番号	307-1	
係名					いきがい活動支援係			上位施策名		No	
予算事業名					敬老事業			高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条、第5条				
	100歳以上の区民						(2)				
	100歳以上の区民						(3)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
100歳以上の高齢者を対象に長寿の祝いとして、区が送付したカタログから該当者の希望する品を誕生日に送付する。また、新たに100歳に到達した者のうち希望者には、区長、区幹部職員が自宅を訪問して祝い品を贈呈する。						長寿を祝うことで、高齢者が多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として敬愛され、長生きをしてよかったですと感じられるようにする。					
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 祝い品贈呈者数						(1) 区全人口に占める100歳以上の高齢者の割合					
(2) 訪問希望者数						(2)					
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	人	171	168	196	153	195	215	71.2		
	活動指標(2)	人	16	4	10	6	10	15	40.0		
	成果指標(1)	%	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	100.0		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	928	934	1,715	912	1,715	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.30	0.40	0.50	0.58	0.45			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,698	3,640	4,530	5,255		4,077	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 + +		千円	3,626	4,574	6,245	6,167	5,792			
	単位あたりコスト( - )÷		円	21,205	27,226	31,862	40,307	29,703			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	3,626	4,574	6,245	6,167	5,792				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		長寿祝い品贈呈				153	人	911,801			
		その他 ( )						(910,889)			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	78.1	活動指標(2)の17年度達成率%	60.0	17年度予算執行率%	53.2
事業の対象者が100歳以上の高齢者であるため、死亡等により祝い品を贈呈できない事例がある。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成18年18.35%				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	お礼の声が寄せられている反面、祝い品を辞退する人もいる。				
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成18年 95,022人 18.35% 平成22年 102,432人 19.35%				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )		理由: 身近な自治体である区が100歳以上の高齢者へ敬老の気持ちを表わすことで、周囲へも高齢者に対する敬愛の気持ちが醸成され、高齢者の孤独感の解消に役立つ。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )		理由または具体的内容: 長寿の祝いの気持ちを表わす形として、品物を贈る以外の方法があるか検討する。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容: 慶事の祝いに受益者負担はなじまない。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )		理由または具体的内容: 祝い品のコストを下げる。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手		協働等による成果と課題: 区が自ら敬老の意を表わすことに事業の意義がある。			
	(3) 協働等の形態					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成20年度までに、長寿への敬意を表わす有効な方法が、祝い品を贈呈する以外にあるかを、長寿祝い品選定委員会において検討する。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 祝い品を贈呈して敬老の意を表明するという事業の形が定着しているので、早急に変更することは困難である。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		75歳・81歳(半寿)顕彰				整理番号	313		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2246		昨年度整理番号	307-2	
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No		
予算事業名				敬老事業		コード	30150		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条、第5条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (3)					
	75歳・81歳到達者											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
満75歳と満81歳(半寿)を迎える高齢者に敬老の意とさらなる長寿を願って祝い品を贈る。半寿該当者には、子どもたちからのお祝いカードを添えて、祝い品を贈呈する。また、保育園・児童館、ゆうゆう館等で歌や伝統芸能の発表などを行い高齢者と子どもとの交流を図る。				祝い品を受け取った対象者(75歳、81歳)が、後期高齢期を健やかに過ごし、これからの活動への意欲が高められるようにする。また、地元の子供からのお祝いカードを受け取ることで、孤立しがちな高齢者の孤独感の解消とする。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 75歳対象者数				(1) (代) 地域交流会参加者数実績(16年度÷17年度)								
(2) 81歳(半寿)対象者数				(2) (代) お祝いカード作成協力施設数実績(16年度÷17年度)								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	4,171	4,246	計画	4,400	実績	4,305	4,500		
	活動指標(2)		人	2,573	2,558		2,900		2,806	3,200		
	成果指標(1)		%	7.74	8.04		8.34		1.62	1.35		
	成果指標(2)		%						1.01	1.11		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,350	9,495		13,131		8,710	13,919	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) お祝いカード作成事業は平成16年度から実施した。平成17年度実績より、成果指標(1)の算出式を変更し、新たに成果指標(2)を追加する。	
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.52	0.45	0.50	0.45	0.35				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,677	4,095		4,530		4,077		3,171
		非常勤職員分		千円	0	0		0		0		0
	総事業費 + +		千円	15,027	13,590		17,661		12,787	17,090		
	単位あたりコスト( - )÷		円	3,603	3,201		4,014		2,970	3,798		
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0		0		0	0			
差引: 一般財源 -		千円	15,027	13,590		17,661		12,787	17,090			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0		0.0		0.0	0.0			
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			81歳祝い品贈呈				2,900	人	4,430			
			75歳祝い品贈呈				4,400	人	4,223			
			地域交流会				1,056	人	57			
			その他 ( )						0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	97.8	活動指標(2)の17年度達成率%	96.8	17年度予算執行率%	66.3
		消耗品の執行残、祝い品の変更による契約金額の低減					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		お祝いカード作成協力実績 78園 2,885枚 地域交流会参加実績 37ヶ所 1,056人					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成18年18.35%					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	お礼や喜びの手紙等が寄せられている反面、祝いの品に対しての要望もあった。また、子どもからの半寿のお祝いカードについては、感謝の手紙が多数寄せられた。					
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成18年 95,022人 18.35% 平成22年 102,432人 19.35%					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しているなか、子どもとのふれあいの機会が図られる。また、敬老祝い品の贈呈を受けることで、自分が周囲から大切に思われているという意識が醸成される。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:今以上に私立の幼稚園・保育園にも積極的に協力を呼びかけ、地域での高齢者と子どもたちとの交流の機会の拡大を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:長寿の祝いという事業から受益者負担にはなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容:祝い品の贈呈以外で敬老の気持ちを表明する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題: 私立幼稚園・保育園、区立保育園・児童館に81歳(半寿)該当者へのお祝いカード作成協力を依頼している。しかし、区立施設でもなかなか協力が得られないため、今後の働きかけが必要である。また、ゆうゆう館や保育園、高齢者施設などに、高齢者と子どもたちとの交流会の開催を呼びかけ実施している。今後区の担当課が、子どもと高齢者との仲介をし、参加園等を拡大していくことが求められている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成20年度までに、敬老の気持ちを表わす方法として、祝い品を贈呈する以外の方法を、高齢者関係団体等の意見も聞いて検討する。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 敬老祝い品の贈呈は、定着している事業である。敬老祝い品を贈呈する以外の方法に改めるとすると、祝い品の贈呈が75歳・81歳と限定されているので、切り変わりの時期に該当する対象者が祝い品の贈呈を受けられないことになり、対象者の理解を得る必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 祝い品を贈呈して敬老の意を表明するという事業の形が定着しているので、早急に変更することは困難である。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会・半寿(81歳)式典				整理番号	314		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	2246		昨年度整理番号	307-3	
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No		
予算事業名				敬老事業		コード	22450		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		25 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条、第5条、第13条第1項					
	75歳以上の高齢者						(2)					
							(3)					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 敬老会式典と併せて、半寿(81歳)の顕彰式典を開催する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
						敬老会を開催し、長寿を祝い、敬老の意を表することにより、高齢者自身が尊重されているという意識の醸成が図られるとともに、健康の増進の一助となる。						
活動指標名(式)				(1) 来場者		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
								(1) 来場率(来場者 ÷ 対象者数) × 100				
								(2)				
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		人	3,416	2,910	3,270	2,743	4,060				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	8.2	6.7	7.1	6.1	8.5				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,192	7,262	6,351	6,361	8,116	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.22	0.80	0.80	0.40	0.40				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,973	7,280	7,248	3,624	3,624			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	18,165	14,542	13,599	9,985	11,740				
	単位あたりコスト( - )÷		円	5,318	4,997	4,159	3,640	2,892				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	3,904	3,631	3,154	3,148	4,041			
特定財源計 +		千円	3,904	3,631	3,154	3,148	4,041					
差引:一般財源 -		千円	14,261	10,911	10,445	6,837	7,699					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		演芸・司会業務委託料					4	日	3,654			
		招待状郵送料等					45,000	人	1,905			
		招待状印刷、その他消耗品					1	式	681			
		幼稚園等への謝礼(図書券)					8	園	80			
		その他 (来場者・出演者用飲料費)					3,000	人	41			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	83.9	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	100.2
		計画どおり予算を執行した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		杉並公会堂の開設に伴い、セシオン杉並から公会堂に会場を変更し、開催回数を4回(2日間)に縮小した。 また、企画委員会を設置し、半寿お祝い会において、いきいきクラブの活動紹介を実施することとした。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	敬老会を開始した当時は戦後で娯楽の少ない時代であったが、現在は高齢者が日常的に趣味や娯楽を楽しめるようになった。 高齢者(75歳以上)人口(総人口に対する比率) 昭和27年 2,993人(0.8%) 平成18年 45,532(8.6%)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	日頃外出する機会が少ないので毎年敬老会を楽しみにしている。 子どもたちが、敬老会のために一生懸命練習し、演技を披露してくれる姿に感動した。 演芸を演歌以外のプログラムに変更してほしい。					
	今後の予測	敬老会の対象者(75歳以上)の増加					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 高齢者のための敬老イベントとして代表的な事業であり、区民の期待や関心が高く、高齢者のひきこもりの防止や交流の拡大に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 演芸部門を見直し、敬老会を活性化させる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 敬老事業であるため、受益者負担にならない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 高齢者人口の増加により、開催日数の縮小や必要経費の削減はできないが、芸能部門の見直しにより経費を削減できる可能性はある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 いきいきクラブの協力を得て敬老会企画委員会を設置し、敬老会に参画してもらっている。 日頃の活動の成果を発表する場として定着してきている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 高齢者の趣味や娯楽が多様化しているため、長年続いてきた演歌中心の演芸について18年度予算編成時までに見直す。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 新たにオープンした公会堂での実施結果を踏まえ、19年度は芸能委託経費をおさえ内容を充実させる方向で検討する。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター運営・管理				整理番号	315		枝番号		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	2244		昨年度整理番号	308
係名		施設担当				上位施策名			No		
予算事業名		高齢者活動支援センター運営 高齢者活動支援センター維持管理		コード	38350 29550		高齢者の社会参加と交流の拡大			30	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法 第15条、第20条の2 (2) 杉並区高齢者活動支援センター及びびゅうゆう館条例 (3) 老人福祉センター設置運営要綱(国)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者の社会参加を支援するため、利用者が安全で快適な時間を過ごせるよう、施設設備の維持管理を行うとともに、施設内の講座室や杉の樹ホールの貸し出しを行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 多くの高齢者が施設を利用することによって、交流が活発になり、高齢者の社会参加の機会が拡充する。 高齢者の自主的団体活動に対する支援によって、新たな生きがいづくりや仲間づくりが促進され、総体的に元気高齢者が増加する。						
	活動指標名(式)		(1) 年間利用者数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 センター利用率 (1) 年間利用者数 ÷ (60歳以上区民数 × 1回 × 12月) (2) * (月1回の利用を標準利用回数とした)				
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%	
					計画	実績	計画		22年度		
指標	活動指標(1)		人	77,278	76,115	77,455	82,815	84,500		94,000	91.8
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	5.45	5.26	5.26	5.62	5.67		5.80	96.9
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	49,549	46,802	61,402	45,833	58,446		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.52	2.71	2.20	1.20	0.80	1.00	0.65	1.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,677	24,661	19,932	7,248	5,889		
		非常勤職員分		千円	0	0	3,468	2,890	2,890		
	総事業費 + +		千円	54,226	71,463	84,802	55,971	67,225			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	702	939	1,095	676	796			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	54,226	71,463	84,802	55,971	67,225				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		建物等管理委託を行った。					1	所	21,676		
		杉の樹ホールの入口扉の修理・改修					1	式	276		
		浴槽タイルの補修(欠損が目立ってきた部分を中心に補修)					1	式	192		
		高齢者活動支援センター運営協議会					1	回	108		
		その他 ( 一般用品類等の購入 )							23,581		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	106.9	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	74.6
		複合施設における効率的かつ効果的な施設修繕に向けた、関係各課との連絡調整体制の強化。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		高齢者活動支援センター運営協議会での委員からの意見聴取。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	老人福祉センターとして開館してから23年が経過し、施設全般で老朽化が見られる。 平成15年4月より高齢者団体の自主的な活動の拠点となるよう、事業はNPO法人に委託し、施設管理は併設の地域区民センターとの総合管理として民間企業への委託化を図った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	施設の老朽化に伴う改修等の要望					
	今後の予測	団塊の世代を含めた前期高齢者の利用促進に向けた取り組みが必要である。 老朽化の進行によって、施設全体の大規模改修が必要である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 長寿社会の中で、今まで以上に生きがいづくり・仲間づくりの場として大きな期待が寄せられる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 施設の老朽化に伴う修繕経費等の増。 理由または具体的内容: 指定管理者を視野に入れた新たな協働による施設運営。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 開館当初から無料施設として広く定着していることや、老朽化が進行している現状から、新たな受益者負担を求めることは困難である。施設大規模改修後、もしくは、指定管理者を含めた新たな施設運営への転換時に改めて検討する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: コストは施設維持管理に関する経費であり、施設の老朽化が進行しつつある状況から経費削減は困難である。					
	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 大規模修繕後において、指定管理者を含めた併設施設との一体的な施設運営について検討が必要である。						
(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 指定管理者を視野に入れた新たな施設運営への転換を前提に、高齢者の生きがい活動・社会参加を支援するための拠点として、今後の事業展開に合わせた施設整備のあり方等について検討を行い、施設の有効活用を図っていく。 行財政改革実施プランにおける、今後の高齢者入浴サービスのあり方検討の方針決定を受けて、20年度実施に向け、施設運営・整備を進める。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 複合施設であることから、設置目的が異なる施設の総合的な管理運営が条件になる。 施設建設時の関係団体との取り決め等により、施設用途及び運営方法等に制限がある。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	施設の老朽化に伴う修繕。					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者ゲートボール場				整理番号	316		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	2245		昨年度整理番号	310	
係名 施設担当				上位施策名				No				
予算事業名 高齢者活動支援センター運営				コード	29550		高齢者の社会参加と交流の拡大				30	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱							
	60歳以上の区民で構成される10名以上の団体				(2)							
					(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 高齢者ゲートボール場の適切な管理及び高齢者ゲートボール団体の登録、使用抽選等の運営を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) スポーツ活動(ゲートボール)を通して、高齢者の社会参加の機会が拡充されることにより、元気高齢者が増加する。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 登録団体数				(1) 週1回以上活動できた団体数 ÷ 登録団体数 × 100								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画		実績						
指標	活動指標(1)	団体	24	24	24		24		24	0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	100	100	100		100		100	0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	785	267	287		260		305	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 荻窪小学校移転改築工事の開始に伴い、宮前2丁目ゲートボール場(1面)を閉鎖。		
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0		0					
	(内)委託費	千円	268	262	260		260		273			
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.03	0.21	0.20	0.10	0.35	0.20	0.40			0.20
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	270	1,911	1,812		3,171				3,624
		非常勤職員分	千円	0	0	289		578				578
	総事業費 + +	千円	1,055	2,178	2,388		4,009		4,507			
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	43,958	90,750	99,500		167,042		187,792			
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	1,055	2,178	2,388		4,009		4,507			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み	内 容							規模	単位	事業費(千円)		
	高齢者ゲートボール場清掃委託								1 所	260		
	その他 ( )									0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	90.6
		最低限の委託内容にとどめており、これ以上の削減は困難である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	全国的にゲートボール人口は減少傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、宮前2丁目ゲートボール場を含め3面しかないため、希望の日時が取れない等の意見がある。					
	今後の予測	平成19年度の荻窪小学校移転改築工事開始に伴い、宮前2丁目ゲートボール場が閉鎖となることから、高齢者ゲートボール場2面のみの貸出となる。ゲートボール登録団体数の推移や活動の動向を見ながら、今後の施設整備を進めていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 高齢者の地域参加の場として、引きこもり防止や健康増進に役立っている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 宮前2丁目ゲートボール場(1面)が閉鎖となることから、総体的にコート数が足りない。 理由または具体的内容: 一人暮らし高齢者対策や引きこもり防止のため、最近高齢者に人気のあるペタンクやバードゴルフといった軽スポーツにも対応できるゲートボール場として、新たな施設整備を考えていく必要がある。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 高齢者の健康増進のための事業であり、他の高齢者を対象とした施設とのバランスから、無料とすることが妥当と思われる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現在の経費は、ゲートボール場の清掃・消耗品・水道料等の必要最小限の経費であり、これ以上の削減はできない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 現在の登録団体の連合組織化を条件に、完全自主管理とすることが望ましい。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の登録団体の連合組織化による完全自主管理。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 連合体となる組織力に欠ける。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 宮前2丁目ゲートボール場(1面)が閉鎖となるため。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター事業・ゆうゆう館事業			整理番号	317		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2246			
係名		いきがい活動支援係			上位施策名				No		
予算事業名		高齢者活動支援センター運営 敬老会館運営		コード	29550 29750		高年齢者の社会参加と交流の拡大	311			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 老人福祉法第4条						
	60歳以上の区民				(2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3)						
年間をとおして、教養、健康、スポーツなどの講座を実施する「杉の樹大学」、高齢者の関心が高いテーマで開催する「公開講座」等を地域で活動するNPO法人に事業委託して実施する。また、9月の敬老月間にゆうゆう館で活動しているグループの発表会等を開催するなど、高齢者の仲間づくりやいきがいを支援する事業を実施する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 杉の樹大学延受講者数				(1) 社会参加活動団体(杉の樹大学OB連合会)参加率 (大学卒業者÷OB連合会加入者)							
(2) ゆうゆう館(旧敬老会館)事業参加者数				(2) 敬老月間敬老会館事業参加率(60歳以上の高齢者数÷事業参加者数)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	1,846	1,449	1,800	2,635	2,970	3,400	77.5	
	活動指標(2)		人	/	1,017	1,200	1,939	3,000	9,600	20.2	
	成果指標(1)		%	50.0	28.0	40.0	22.0	40.0	50.00	44.0	
	成果指標(2)		%	/	3.74	4.29	1.58	2.43	7.54	21.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,279	3,932	3,829	3,782	3,849	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) ゆうゆう館(旧敬老会館)事業は平成16年度から実施。なお、平成17年度の実績より、成果指標(1)(2)の算出方式を変更する。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40	0.37	0.40	0.35	0.25			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,598	3,367	3,624	3,171			2,265
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	6,877	7,299	7,453	6,953	6,114			
	単位あたりコスト( - )÷		円	3,725	5,037	4,141	2,639	2,059			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	6,877	7,299	7,453	6,953	6,114				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		杉の樹大学・公開講座・健康講座・ITサロン・コンサート(委託等)				65	講座	3,717			
		発表会・展示会・ゲーム大会・地域の高齢者と子どもの交流会等				32	館	65			
		その他 ( )						0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	146.4	活動指標(2)の17年度達成率%	161.6	17年度予算執行率%	98.8
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成15年度からNPO法人杉の樹カレッジに杉の樹大学等を事業委託し、高齢者の要望に沿った学習機会の提供に努めている。18年度方針であった受講料のとれる自主事業の企画はできなかったが、杉の樹大学については入学希望者数が多数のため、平成17年度から、これまでの一年間の講座を本科コースとし、専門的な学習意欲に応える専科コースを新たに創設、それぞれ定員55人(本科コースは50人から55人に増員)にするなど、自主的な企画を立て実施した。今後は、受講料の取れるような事業を開催するよう指導を行っていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	60歳以上の区内高齢者人口の推移 昭和58年 13.69% 71,182人 平成18年 23.82% 123,347人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者の学習機会や場の拡充・充実について期待が寄せられている。					
	今後の予測	団塊の世代が定年を迎え、今後地域社会の人口構成が急激に変化する。地域に戻ってくる団塊の世代も含め、IT関係の講座など、高齢者の生きがいを高める活動・学習などの参加の場や機会の拡大が求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 学習活動や趣味の活動などを通して、仲間づくりが進み、それぞれの能力を活かした自主グループが地域の中で誕生するなど高齢者の社会参加に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 杉の樹大学卒業生をゆうゆう館等の地域での事業に積極的に呼び込むことで、事業の活性化、参加者の拡大が図れる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 杉の樹大学学生からの授業料の徴収を検討する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 事業委託で実施している杉の樹大学の内容を更に充実させ、学生から学費を徴収することで、経費の削減が図れる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 杉の樹大学・公開講座など的高齢者の学習機会の提供等の事業運営を、NPO法人に委託して実施している。NPO法人が学生から授業料を徴収するなど、自主財源確保に努めることで、新たな活動を進めていく必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成20年度までに、地域で活動しているNPO法人・団体、杉の樹大学卒業生等を杉の樹大学の企画に参加させ、高齢者の社会参加を促すと同時に、高齢者の多様な要望に応えられるように、カリキュラムの企画方法の見直しを行う。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 団塊の世代が入学を希望する内容になるよう検討し、また、社会参加するにあたって、実践的な授業内容にする必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
(2) 理由 予算規模は現状維持とし、事業委託先のNPO法人に、今後受講料のとれる自主事業を企画するよう指導する。							

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ゆうゆう館施設維持管理及び運営委託				整理番号	318		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	2245		昨年度整理番号	312	
係名				施設担当				上位施策名		No		
予算事業名				敬老会館維持管理		コード	38450		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		38年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条 (3) 老人憩の家の設置運営について					
	原則として60歳以上の区民及び60歳以上の区民が8割以上の団体				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				原則区内に住所を有する60歳以上の者を対象に、個人利用や団体活動支援のための施設提供及びNPO法人等との協働事業の実施のため、ゆうゆう館を運営し施設維持管理を行う。 脆弱高齢者が減少し元気高齢者が増加するような地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点としてゆうゆう館が、高齢者だけでなく地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用される。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 年間延利用者数				(1) $60歳以上区民の会館利用率 = \frac{年間延利用者数}{60歳以上の区民人口 \times 2回 \times 12月} \times 100$ * 2回を標準利用回数とする								
(2) 利用団体数(高齢者自主団体)				(2) $ゆうゆう館団体用諸室平均稼働率 = \frac{実際の利用数}{利用可能回数}$								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		人	269,806	292,254	298,000	285,410	304,610				
	活動指標(2)		団体	501	560	592	574					
	成果指標(1)		%	10	10	10	10					
	成果指標(2)		%	31	39	40	40					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	83,041	101,570	140,132	133,512	179,789	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 受付等業務委託館 17年度 18年度 12館 16館			
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0				
	(内)委託費		千円	41,531	44,796	80,539	20,052	114,677				
	職員数(常勤   非常勤)		人	18.00   45.00	17.56   40.00	13.40   32.00	13.45   32.80	11.60   23.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	161,892	159,796	121,404	121,857		105,096		
		非常勤職員分		千円	124,155	115,200	92,480	94,792		66,470		
	総事業費 + +		千円	369,088	376,566	354,016	350,161	351,355				
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,368	1,288	1,188	1,227	1,153				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	369,088	376,566	354,016	350,161	351,355					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		新たな時代の敬老会館のあり方検討会の進行管理				8	回	690				
		ゆうゆう館への名称変更に伴う看板作成委託				1	式	4,599				
		協働事業実施団体選定委員会の進行管理				4	回	148				
		施設修繕				135	件	5,968				
		その他 (運営委託・建物等管理委託等)						122,107				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	95.8	活動指標(2)の17年度達成率%	97.0	17年度予算執行率%	95.3
		受付等管理委託料が当初予算よりも安価で落札されたことや、維持管理経費の削減に職員が積極的に取り組んだ結果、執行残となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		スマートすぎなみ計画、第1次杉並区協働等推進計画に基づく取り組みにより、受付等業務委託館は、17年度12館に倍増し、18年度はさらに16館となった。 「新たな時代の敬老会館あり方検討会」の報告書に基づき、新たな敬老会館のあり方方針(以下、「方針」という。)を定め、敬老会館の名称変更のために区民意見を募集し、それらを参考に新名称を決定した。また、協働事業提案の募集、実施団体の選定等を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区内の高齢者人口(65歳以上) 平成元年度 59,396人 平成18年6月1日現在 95,184人 ゆうゆう館利用高齢者活動グループ数(延活動回数) 平成元年度 1,991団体 平成18年度 6,884団体					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	生活様式の変化や価値観の多様化などにより、施設構造・施設設備自体が現代社会にはそぐわないなどの意見が多い。また、敬老会館という名称が新たな高齢者層の利用を阻害する要因の一つと考えられることから、ゆうゆう館への名称変更を行った。					
	今後の予測	方針に基づき、必要な施設整備・改修を実施するとともに、引き続きNPO法人等との協働事業を拡充し、前期高齢者層等の利用拡大を図っていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 長寿社会の中で、今まで以上に生涯現役高齢者の活動の場としての役割が注目されている。また一部の虚弱高齢者をも対象とした介護予防の地域の拠点としての役割も新たに加わった。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 介護予防の拠点としての活用や、協働事業の拡充に対応した活用が図れるよう、施設整備・改修を進めていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 協働事業では、受講料等の一部について受益者負担としている。今後付加価値的な施設改修や事業内容等の充実を条件に、受益者負担を拡大していく予定である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 協働事業の拡充によって委託化を進める。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 方針に基づき、NPO法人等との協働事業を9館で開始し、受付等業務も委託化を図った。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )	委託化の進行により、区職員配置館・協働事業実施館・民間会社委託館が混在する状態がしばらく続くことから、さらなる情報の共有化や事務の平準化等のための連絡調整体制を強化する必要がある。					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 方針に基づき、NPO法人等との協働事業の推進や夜間通年開館の拡大により施設機能全般の拡充を図るとともに、併せて委託化を進める。また、行財政改革実施プランにおける、今後の高齢者入浴サービスのあり方検討の方針決定を受けて、20年度実施に向け、施設運営・整備を進める。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	方針に基づき、NPO法人等との協働事業及び委託化の推進、夜間通年開館の拡大等による予算増。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		三療サービス			整理番号	320		枝番号				
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2247		昨年度整理番号	314	
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No		
予算事業名				健康事業		コード	29950		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度			●昭和 ○平成		48年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例						
	60歳以上の区民			杉並区高齢者三療サービス連絡協議会		(2) 杉並区三療サービス事業実施要綱						
						(3) 杉並区立高齢者活動支援センター三療サービス事業実施要綱						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			ゆうゆう館(31館)及び高齢者活動支援センターにおいて、 マッサージ・はりを行う三療サービスを「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自宅に近いゆうゆう館でマッサージを受けることで身体機能の維持・介護予防の促進を図る。 また、診療所を持たない視覚障害者の自立支援を推進することができる。							
活動指標名(式)			(1) 三療サービスゆうゆう館利用者数 (2) 三療サービス高齢者活動支援センター利用者数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 利用率 = 利用者数 / 60歳以上の区民 × 100 (2)							
指標	区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
						計画	実績					
	活動指標(1)		人	4,147	4,165	4,705	4,787	4,800				
	活動指標(2)		人	2,460	2,720	2,754	2,744	2,800				
	成果指標(1)		%	5.5	5.7	6.1	6.1	6.1				
成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,677	11,842	12,983	12,646	12,975	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0				
	(内)委託費		千円	10,270	10,313	11,091	11,088	11,093				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.32	0.50	0.50	0.50	0.40				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,878	4,550	4,530	4,530	3,624			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	14,555	16,392	17,513	17,176	16,599				
	単位あたりコスト( - )÷		円	3,510	3,936	3,722	3,588	3,458				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	5,515	0	5,937	5,763	5,930			
特定財源計 +		千円	5,515	0	5,937	5,763	5,930					
差引:一般財源 -		千円	9,040	16,392	11,576	11,413	10,669					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			ゆうゆう館事業委託				456	回	9,968			
			高齢者活動支援センター事業委託				306	回	1,120			
			役務費 寝具等乾燥						1,414			
			需用費						144			
			その他 ( )						0			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	101.7	活動指標(2)の17年度達成率%	99.6	17年度予算執行率%	97.4
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	利用率・サービス向上のため、施術者の技術の向上を図る講習会を実施。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	東京都の高齢者人口(65歳以上)の構成比		平成10年 14.48%	平成15年 17.14%	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並区の高齢者人口(65歳以上)の構成比		平成18年 18.37%	平成15年 17.52%	
	今後の予測			平成10年 15.71%	平成18年 18.26%	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )		理由: 高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進に一定の役割を果たしている。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )		理由または具体的内容: 施術者の技術・サービスの向上を図る。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )		理由または具体的内容: 現在も700円を徴収して利用者に施術を行っているが、その料金については施術者の収入となっている。			
(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )		理由または具体的内容: ゆうゆう館での施術実績による委託料の変更。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )		協働等による成果と課題			
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )		今後の具体的な取り組み: 受益者負担の見直しをした場合、利用者が減少することが予想されるので、当分は現状のまま事業を委託する。			
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、対象者は60歳以上の区民となっているが、利用者が固定化している。 平成19年度から一部の館で、介護予防の観点を取り入れ、対象者を要介護認定で非該当となった方など比較的虚弱な高齢者に絞り、優先的に施術を受けられる介護予防拠点館の設置を行う。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者への周知徹底や、介護予防の観点に基づいた施術者の技能向上が必要と考えられる。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 実施方法等の変更はあると考えられるが、実施回数などの事業規模については大幅な変更を計画していないため、予算については現状維持と見込まれる。					